

昭島消防署からのお知らせ



住宅火災による死者が発生！

令和2年9月7日、昭島市内で平成30年3月以来となる住宅火災による死者が発生しました。

令和2年の昭島市内の火災件数は13件です。(令和2年9月10日現在)



① 火災による死者のうち61.5%が高齢者です！

火災による死者は91名で、そのうち56名が65歳以上の高齢者でした。

② 出火原因の上位は「こんろ」、「たばこ」、「電気関係」

③ 一人暮らしまたは出火時に一人だったケースは60.7%

出火時に「高齢者のみ」であった際に発生した火災による死者は34名でした。

※ 東京消防庁管内で令和元年中に発生した火災より

STOP！こんろ火災！

➤ 調理中にコンロから離れない！



STOP！たばこ火災！

➤ 寝たばこは絶対にしない！



STOP！電気火災！

➤ プラグ、コンセントは定期的に点検・掃除しましょう！



ご存知ですか？命を守る住宅用防災機器



住宅用火災警報器

早期発見のために

平成22年4月1日よりすべての居室、台所、階段に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

すでに設置されている方は、適正な維持管理をお願いいたします。

◆設置から10年以上経過している場合

→本体内部の電子部品の劣化が考えられるため、本体交換をお願いします。

◆設置から10年未満の場合

→定期的に動作確認を行います。

(試験ボタンまたは機器についているヒモを引いて正しく鳴動するか確認する。)

住宅火災100件あたりの

死者発生件数

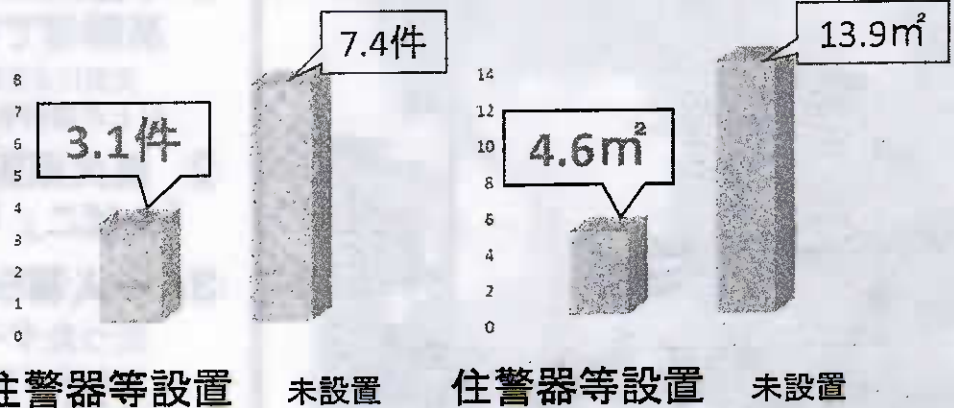
(H30年中東京消防庁管内)

住宅火災1件あたりの

平均焼損床面積

(H30年中東京消防庁管内)

住宅用火災警報器
(住警器)の設置により
火災の被害が軽減！



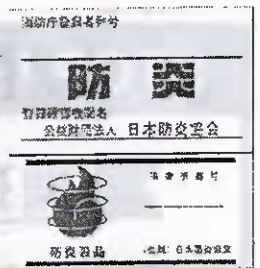
防災製品

出火防止のために

高齢者の死者が発生した住宅火災の原因に、電気ストーブへの布団の接触や、コンロの火による着衣着火があります。

防災製品は、普通の製品に比べて、火が接しても着火しにくく、もし着火しても自己消火性があり、燃えにくい製品です。

エプロンや割烹着、パジャマや寝具類などがあります。



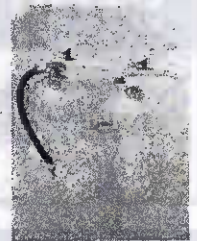
防災性能を示すラベル

住宅用消火器

拡大防止のために

住宅用消火器による初期消火は、火災の被害の抑制に非常に効果的です。

小型で軽量の消火器で、耐用年数は5年です。女性や高齢者の方でも簡単に使用できます。



お問合せ先

東京消防庁昭島消防署 警防課 防災安全係

昭島市松原町1-14-1 電話 042-545-0119【内線321】



令和2年(2020年)9月